

【合同資源みらい賞】

いのうえ まい
井上 舞

最愛の父へ

お父さん、お久しぶりです。

お父さんがこの世を去ってから、ちょうど10年が経ちましたね。

我が家はしばらく抜け殻になりましたが、

たくさんの人に支えられて今日も笑顔で頑張っています。

私は末っ子でお父さんの記憶が薄れるのが一番早い分、
この10年間、写真やビデオを通して姿や声を忘れない様に思い出を大切にしてきました。

でも、未だにお父さんの大きくて温もりのあった手の感触、
髪を乾かしてくれた時の優しさを忘れることはありません。

ただ、やっぱり心残りなことのほうが多く、まだまだ辛い時もあります。
お父さんに辛く当たってしまったこと、もっと大切にしていればよかったこと、
私たち姉妹の晴れ姿を見てほしかったことなど沢山あって数え切れません。

今でもそんな思いが時折振り返し、悲しい気持ちになることがありますが、
これからも楽しかったあたたかい思い出を胸に、前を向いて歩いていきます。

お父さんが付けてくれた「舞」という名前。

由来は、桜の花のように優しく美しく舞ってほしいという想いからでしたね。

桜は美しく穏やかな優しい花です。沢山の人を包み込み幸せにしてくれる花です。
そんな桜のように、これまで支えてくれた人への感謝の気持ちを忘れず、
穏やかで優しい心を持った人に私はなりたいと思っています。

これからも天国で私たち家族のことを、どうか見守っていてください。

お父さん、ありがとう。ずっと大好きです。

末娘より愛を込めて

(愛媛県／26歳／女性／会社員)

入賞者の作品への大切な想い

父親に伝えきれなかった感謝の気持ち、これまでどう生きてきたのかの報告、
これからも頑張っけて歩いていこう、という思いを伝えたい一心で書きました。
とても清々しい気持ちになりました。